

## [英語論文の読み方・レジメの作り方]

### 1. タイトルは論文の簡潔な要約である

キーワードや重要な変数（要因）が示されている→わからない語があれば  
心理学辞典で調べる

2. どの誰が書いたかを知る。reference を読めば、その人の書いた他の論文がわかる。  
連名者、所属、謝辞をみれば研究グループがわかる。HP をチェックする。

### 3. abstract (要約) を必ず読む。

目的、方法、結果が簡潔に記されている→読むかどうかを判断する

### 4. 論文全体を流し読み（図表、章立て、特に、Method に目を通し、Conclusion を読む）

#### [論文の構造]

Introduction 序論・問題（タイトルはないこともある）

研究の目的、背景（研究史、理論）、範囲、キーワードの定義、仮説、構成などが述べてある

→ここで仮説検証型か、先行研究追試型か、探索型かがわかる

Method 方法

Participants (Subjects) 参加者(被験者)

Materials 材料

Experimental Design 実験計画

Procedure 手続き

Results 結果

Discussions 考察（討論）結果の解釈、他の研究との比較、研究の意義、今後の課題

References 文献 必要な文献はさらにたどる

### 5. レジメを作る

目的：ノートとして、自分の論文理解を助ける、発表の準備や研究に役立てる  
（論文に直接書き込むのも一案である）

配布資料として、他の人の論文理解を助ける

方法：正確に、短時間で読み、つくるのが目標 →大事な単語だけ辞書をひく

1. 「タイトル、著者、要約の部分」重要な図表はそのまま貼る

2. 見出し（英語のまま）を先にすべて入れる

3. 見出し直後（直前）のパラグラフは重要（大事な順にかかっている）

パラグラフの最初(最後)の文 (topic sentence を見つける)

これらは訳出する（キーワードや定訳のない語は訳さなくてもよい）

全訳ではなく、キーワードを入れて、論理がわかるように訳す

修飾語句は省いてよいことが多い。主節を訳出する

具体例は省いてもよいが、適宜入れる

文章にするか、キーワードを図示（→など）するかは個人の好み

重要度に応じて、階層的になるように、字下げをする

あとで記入できるように余白をとる。

調べたこと、疑問点は、本文とは区別できるように記入しておく。